全ては子ども達の笑顔のために
輝け！ めぬま
校訓「まじめ　まめ　まろく」

学校教育目標
輝け！
知・徳・体のバランスの取れた児童を育成する

令和4年６月１日　熊谷市立妻沼小学校

妻沼小だより　　Ｎｏ．３

まじめ　まめ　まろく

校長室の前の廊下に校訓の意味が掲示されています。１年間の方針を決めるグランドデザインにも書かれていますが、よく考えられた校訓だなと思います。穏やかな妻沼の地域性を校訓が物語っているようです。この３つの言葉は、次のような意味があります。

まじめ
・うそをつかないこと。　・真剣であること　・ルールを守ること　・本気であること
・最後までやり遂げること　・真心があること　・誠実であること

まめ
・苦労を惜しまずに物事に励む　・勤勉　・よく動く　・努力する　・体が丈夫
・人に尽くす

まろく
・温かくやわらかな人当り　・円満にかかわる様子　・落ち着いた
・角のない穏やかな様子　・優しい

どの言葉にも人とより良くかかわるための言葉が含まれています。決して派手ではないけれど胴木のようにどっしりとして堅実な、校訓にあるような人になるように努力を積み重ねてほしいです。

学校は小さな社会　大きな家族

「学校」は、子ども達が経験する初めての社会であり、年齢の近しい子で構成された大きな家族に近い存在です。学校生活は長時間なので、当然、子どもたちの間で思いの行き違いがあればけんかやいさかいに発展することもあります。例えば、お友達に何度言っても聞いてもらえなかったときに、つい手を出してしまう。思うようにいかなかったから、きつい口調で話してしまい、口げんかになる。等々・・。

そんな時、学校でも家庭と同じように子どもたちから話を聞き、仲たがいを正していきます。いさかいの原因やその後どうしたかを聞き、必要があれば謝罪を考えさせます。おうちで兄弟が争いになった時と同じことを学校でも行っているのです。どの子も大切な妻沼小の子です。子ども達のことを憎くて指導する職員はだれもおりません。誰かが悩んでいれば全員で心配し、誰かができなくて困っていれば全員でサポートしようと考えています。子どもたち全員の健やかな成長のため学校は全力で取り組んでいることをご理解いただき、ご協力をお願いします。

５月の妻沼小学校

１・２年交通安全教室

プール掃除

学年朝会

引き渡し訓練

４年生自転車運転免許教室

６月行事予定

		各学年の授業時間→	1	2	3	4	5	6
1	水	開校記念日(150年:来年150周年)						
2	木	歯科健診9:00(1,3,5年,なかよし)	5	5	5	6	6	6
3	金	委員会活動日③ フッ化物洗口 尿検査2次 6年陸上フェスティバル(7:55～12:30)	5	5	5	5	6	6
4	土	PTA第1回資源回収　PTA会長掲額式						
5	日	PTA第1回資源回収予備日						
6	月		5	5	6	6	6	6
7	火	6年陸上フェスティバル予備日 くまなびスクール③	5	6	6	6	6	6
8	水	業間運動　5年歯みがき大会(5校時5-1,6校時5-2)　ロング昼休み	5	5	6	6	6	6
9	木	クリーン運動13:05～13:55	5	5	5	6	6	6
10	金	フッ化物洗口　クラブ活動日③ 1･2年自然の中で遊ぼうツアー(ぐんまこどもの国) 出発8:45学校着14:45	5	5	5	6	6	6
11	土							
12	日							
13	月	硬筆競書会	5	5	6	6	6	6
14	火	硬筆競書会	5	6	6	6	6	6
15	水	業間運動	5	5	6	6	6	6
16	木		5	5	5	6	6	6
17	金	クラブ活動日④ フッ化物洗口	5	5	5	6	6	6
18	土	PTA本部役員会9:00･理事会10:00						
19	日							
20	月		5	5	6	6	6	6
21	火	音楽朝会 くまなびスクール④	5	6	6	6	6	6
22	水	4年埼玉発見ツアー(防災学習センター埼玉伝統工芸館)　集合8:00 出発8:15 業間運動　ロング昼休み	5	5	6	6	6	6
23	木		5	5	5	6	6	6
24	金	スクールカウンセラー勤務日13:10～15:55 クラブ活動日⑤ フッ化物洗口	5	5	5	6	6	6
25	土							
26	日							
27	月	3～6年5時間授業	5	5	5	5	5	5
28	火	児童集会　くまなびスクール⑤	5	6	6	6	6	6
29	水	業間運動	5	5	6	6	6	6
30	木		5	5	5	6	6	6

※暦の上では、夏となりました。本年度も熱中症予防のため、傘さし登校ができます。傘さし登校中は、しゃべらないことを前提に、マスクを外すことができます。

しょう。

学校は小さな社会　大きな家族

　「学校」という施設は、子どもの人格の形成や健やかな成長を促す目的をもって学習を進めていく施設です。知識の習得・応用を主な目的とするならば、家庭でその子に合った専門家に教えてもらうのが一番適しているといえます。なぜ一斉の学習を「学校」で行っているのかといえば、それが一度にたくさんの人間の能力を高めるのに適しているからです。学習を行い、知識を身に着けるためにはたくさんの時間が必要です。そこで、子供たちは学校で生活を送ることになります。長い時間の生活（一日の約１／３）となるので、そこには学校社会が展開されます。利益を追求する社会でないことから、大きな家族であるともいえます。上級生や同級生は学校においては、同僚であり、兄弟です。どちらかというと、同じ年であっても兄弟に近い感情を持っていることと思います。兄弟に近い感情を持っているのだから、当然行き違いがあればけんかや諍いに発展します。学校でも家庭と同じように諍いになった双方の話を聞き、仲たがいを正していきます。諍いの原因やその後の行動を聞き、必要があれば謝罪を考えさせます。おうちで兄弟が争いになった時と同じことを学校でも行っています。たいがい家庭で叱られていることは、学校でも指導されています。家庭と違って、たくさんのメディアに触れる機会はなく、やらなければならないことだらけだから、指導されることは多くなるでしょう。家庭と同じようによくなってほしいから指導するのです。ご両親が自分のお子さんを叱るときには、お子さんだけを叱っているのと同じように、学校でも子供だけを指導しています。諍いになった双方が自分の家庭で育てている子なら、そうしただろうなと思うことを学校では行っています。学校は小さな社会だから、なおさら規制はされるでしょう。

学校は小さな社会　大きな家族

　「学校」は、子ど達が経験する初めての社会であり、年齢の近しい子で構成された大きな家族に近い存在です。学校生活は長時間なので、当然、子どもたちの間で思いの行き違いがあればけんかやいさかいに発展することもあります。例えば、お友達に何度言っても聞いてもらえなかったときに、つい手を出してしまう。思うようにいかなかったから、きつい口調で話してしまい、口げんかになる。等々・・。そんな時、学校でも家庭と同じように子どもたちから話を聞き、仲たがいを正していきます。いさかいの原因やその後どうしたかを聞き、必要があれば謝罪を考えさせます。おうちで兄弟が争いになった時と同じことを学校でも行っているのです。どの子も大切な妻沼小の子です。憎くて指導する職員はだれもおりません。誰かが悩んでいれば全員で心配し、誰かができなくて困っていれば全員でサポートしようと考えています。子どもたち全員の健やかな成長のため学校は全力で取り組んでいることをご理解いただき、ご協力をお願いします。

たいがい家庭で叱られていることは、学校でも指導されています。

家庭と違って、たくさんのメディアに触れる機会はなく、やらなければならないことだらけだから、指導されることは多くなるでしょう。家庭と同じようによくなってほしいから指導するのです。ご両親が自分のお子さんを叱るときには、お子さんだけを叱っているのと同じように、学校でも子供だけを指導しています。諍いになった双方が自分の家庭で育てている子なら、そうしただろうなと思うことを学校では行っています。学校は小さな社会だから、なおさら規制はされるで